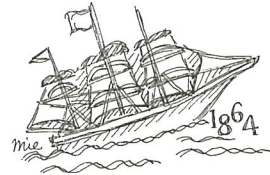


DOSHISHA REPORT



法人部

●第二十二回東京新島講座

十月二十日に第二十二回東京新島講座公開講演会が同志社大学東京アカデミーで開催された。東京新島講座は例年十月に行われ、今回は森川眞規雄大学文学部教授と瀬川晃大学法学部教授がそれぞれ「多文化主義をこえて―カナダと香港人の二十一世紀―」、「最近の少年犯罪と少年法改正」の演題で講演され、約百人が参加した。



約100人が参加した東京新島講座

●二〇〇一年秋の叙勲

同志社大学名誉教授内田勝敏氏が勲三等旭日中綬章、同志社女子大学名誉教授中皓氏が勲三等瑞宝章を受章され、十一月九日国立劇場大劇場で伝達式が行われた。

●創立記念行事

創立記念礼拝

十一月二十五日 十時

リユニオン

十一月二十五日 十二時三十分

於 同志社新島会館

早天祈禱会

十一月二十九日 七時

於 若王子山頂

創立百二十六周年記念式

十一月二十九日 九時

於 大学神学館礼拝堂

●第八回外国人教員懇談会

十二月七日に第八回外国人教員懇談会が京都ガーデンパレスで開催された。本懇談会は国際主義教育委員会主催で例年この時期に開催され、今回は約六十人が参加して懇談した。

大学

●シティブバンク提供科目

「金融ビジネス」開講

金融の第一線を直接学んでもらおうと、米国系金融機関・シティブバンクの現役幹部社員十一人による講義「金融ビジ

ネス」が秋学期から開講された。商学部の専門科目としてシテイバンクから提供を受け、商学部学生約百四十人が全十三回の講義を受講。金融界の現状や業界の経験に基づいた話が聞けると好評であった。関西では、立命館大学とともに初の試み。

●リトリートセンターで学際科目開講

九月十七日から二十一日、同志社びわこリトリートセンターで学際科目「現代につながるビジネスの原点―近江商人―」「近江の自然と文化」の二科目が各科目二泊三日の集中講義形式で開講し、他大学生、シテイカレッジ生含む百二十三人が受講した。

当センターで正課の授業科目が開講されるのは今回が初めて。今後もキャンパスとしての活用が期待される。

●神学部シンポジウム二〇〇一開催

十月十三日、神学部シンポジウム二〇〇一「『心の教育』の可能性を問う―公教育における宗教教育」が開催された。

第一部では沖田行司文学部教授と、菅原伸郎氏（朝日新聞記者）、井上順孝国学院大学教授が講演をおこない、第二部

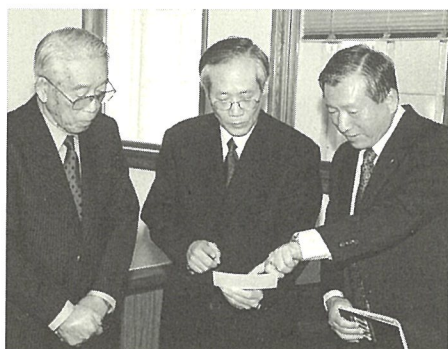
では、森孝一神学部長も加わり、小原克博神学部助教授の司会のもとパネルディスカッションが行われた。さらに十二月八日にフランスの場合について、宗教研究家の竹下節子氏を招き、二月九日にドイツの場合について、宗教教育学者のフォルケルト・リツカース、デュースブルク大学教授を招き、公開講演会を開催し、公教育での宗教教育についての議論を深める年となった。

●「台湾ラグビーの父」の足跡を追ひ、同志社訪問

「台湾ラグビー創始者 陳清忠先生の功績を追う」というビデオを制作するため、陳清忠さん（一八九五―一九六〇）の母校台湾淡江高級中学OBら八人が、一月二十二日、かつて陳さんが学んだ同志社大学を訪れた。

陳さんは同志社でラグビー部に所属し、主将も務め、帰国後同志社での経験をもとに、台湾で初めてラグビーを紹介。台湾ラグビーの発展に大きく寄与している。

今回の訪問では、撮影のほかにも、阪口直樹・言文センター教授や岡仁詩・ラ



右から陳尊道さん、阪口直樹言文センター教授、岡仁詩ラグビー部技術顧問・大学名誉教授

グビー部技術顧問らと懇談し、陳さんの三男・尊道さんの持参した写真などをみながら草創期のラグビー部に思いを馳せていた。（四〇ページに関連記事）

●神学部の受験生向け体験授業が好評

法人内四高校からの要望に基づき、神学部への進学を考えている高校三年生が神学部の授業を参観できるようにした。二〇〇〇年度は十五人、二〇〇一年度は三十一人が授業を体験した。さらに二〇〇一年度からは同志社以外の高校生や予備校生も参観できるようにし、これまで

四人が体験した。好評のため、二〇〇二年度も実施する予定である。詳しい情報は神学部ホームページで提供している。

女子大学

●ジェームズ館改修奉献式

創立記念事業の一環として二〇〇〇年八月から進めてきた復元的改修工事が無事終了、八月三十一日奉献式が執り行わ



ジェームズ館内の学生ラウンジ

れた。参列者は式典後、建築当時の姿を復元する一方で、新しくエレベーターを設置するなど、生まれ変わった館内を見学した。

●音楽学科管弦楽団演奏会

九月八日に北九州「九州厚生年金会館」、翌九日には熊本「熊本県立劇場コンサートホール」で開催された。指揮黒岩英臣氏（桐朋学園大学助教授・同志社女子大学講師）により、ヘルリオーズ／序曲「ローマの謝肉祭」、モーツァルト／オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットと管弦楽のための協奏交響曲変ホ長調（297b）、チャイコフスキー／交響曲第五番ホ短調が演奏され、兩日多数の来聴者を迎え好評を博した。

●新島記念講堂パイプオルガン奉献式

新島記念講堂に学内で三基目、最大規模となるパイプオルガンを設置。九月十日に執り行われた奉献式では同志社女子大学笠原進教授による演奏が行われ、参列者は荘厳な音色に耳を傾けた。パイプオルガンは、フランスのアルフレッド・ケルン社製。パイプ数三千二百十四本、高さ七・二メートル、幅一〇・六メートル

ル、奥行き五・三メートル。

●同志社女子大学・城崎温泉歴史文学まつり

九月二十九日、三十日、兵庫県立城崎大会議館、西村屋ホテル招月庭等で開催。

同志社女子大学安森敏隆教授による地元中学校での特別授業、臈合寿教授、朱捷教授、吉海直人教授による講演、その他城崎短歌コンクール表彰式や記念コンサートなどが行われ、盛況であった。

●寄附講座

「共に生きる―豊かな絆を求めて―」

同志社女子大学の卒業生でつくる「地の塩」会が主催となり、「共に生きる―豊かな絆を求めて」と題し、十月六日から土曜日、全六回で開催。同志社女子大学の教員を始め、社団法人アムネスティ・インターナショナル日本特別顧問イーデス・ハンソン氏、国連ボランティア名誉大使中田武仁氏、外交官杉原千畝氏夫人杉原幸子氏など、多彩な講師陣を招いた。受講生は興味深い話に熱心に耳を傾けた。

●ホームカミングデー

十一月四日、同志社女子大学創立百二十五周年・新制大学設置五十周年を記念

同志社女子大学歌

作詞：江森國友
作曲：原 嘉壽子

Andante cantabile
mf



1. はる の ひ わ か み どーり それ ぞ れ に は な を かざして
2. キャンパス か た り あうわ う る わ し い み ら い の す が た
3. む す ぼ う ま な ぶ こ ころ じ ゆ う じ り つ な か ら い の に わ

con brio
f *mf*



あ か い レンガ や ま し ろ の お か れ き し を つ な ぐ れ き し を つ な ぐ
せ か い に ひ ろ げ ひ と と ひ と と の む ね に や さ し く む ね に や さ し く
い の ち そ で て い ろ ど り ふ か く ひ か り の な か を ひ か り の な か を

- | | | |
|-------------|----------------|------------|
| 1. 春の日 若緑 | 2. キャンパス 語り合う輪 | 3. 結ぼう 学ぶ心 |
| それぞれに 花を飾して | うるわしい 未来の姿 | 自由自立 伸らいの庭 |
| 赤いレンガ 山背の丘 | 世界に広げ 人と人との | 生命育て 色彩深く |
| 歴史をつなぐ | 胸にやさしく | 光りの中を |

同志社女子大学歌

同志社女子大学創立125周年・新制大学設置50周年記念事業の一環として、大学歌の制作を企画、1999年4月～2000年5月にかけて歌詞を募集した。卒業生をはじめ多数の方々から寄せられた作品をもとに、江森國友氏（詩人）に作詞を、また原嘉壽子氏（同志社女子大学名誉文化博士・元同志社女子大学教授）に作曲を依頼し、昨春完成。11月4日開催の「ホームカミングデー」記念式典で初披露した。

し、京田辺キャンパスで開催。当日は、卒業生をはじめ地元住民ほか、約二千五百人がキャンパスに集った。新島記念講堂で行われた厳かな「記念礼拝」に続き、「記念式典」では親子三代卒業生の表彰や同志社女子大学歌を披露。またその他、学内では多彩なイベントを開催。旧友や恩師との再会を喜びあう卒業生の姿が随所で見られ、盛況のうちに終了した。

● **シェイクスピア・プロダクション公演**
The Winter's Tale (『冬物語』)

学芸学部英語英文学科三・四年次の二年間にわたりシェイクスピアの作品を研究し、英語劇により上演。企画から衣装、舞台装置、照明、演出、キャスト等すべて学生の手によって行われる。第五十一回目を迎える今年度は十一月十六日、十七日の二日にわたり新島記念講堂で*The Winter's Tale* (『冬物語』)を上演。各方面から高い評価を得て公演は成功を収めた。

● 音楽学科定期演奏会

十二月九日、京都コンサートホールで第三十一回定期演奏会を開催。出演は音楽学科合唱団と管弦楽団で、ベンジャミ

ン・ブリテン「キャロルの祭典より」、西村朗「炎の挽歌より」、リムスキー＝コルサコフ「スペイン奇想曲」、J・ブラームス「交響曲第四番」が演奏され、大勢の聴衆から賞賛を浴びた。

● バイフオルガンによる クリスマスコンサート

十二月二十二日、同志社女子大学創立百二十五周年・新制大学設置五十周年を記念し、新島記念講堂で開催。ファン・マリア・ペドレロ氏（札幌コンサートホール専属オルガニスト）を奏者として招き、J・S・バッハ／オルガンのためのパストレラ BWV590、メシアン／「主の降誕」より 神はわたしたちとともになど九曲が演奏された。会場は席数を超えるほどの盛況となり、来聴者は幻想的な雰囲気の中、荘厳な音色を楽しんだ。

高等学校

● 交換留学生・ウエスリー・カレッジ の生徒、メルボルンより来校

九月二十二日～十月九日

生徒九人（女子六人・男子三人）
付添 バーバラ・ハント先生

● 岩倉祭

体育祭 九月二十一日

クラス（二年）・クラブ発表 九月二十九日

クラス（二年）・クラブ発表 九月三十日

演劇祭（三年） 十月一日



岩倉祭・1年生行事のグラウンド・パフォーマンス「お祭り」のひとコマ

● 他中学入試説明会（学校対象）

十月六日

● 他中学入試説明会

（保護者・受験生対象） 十月十三日

● 同志社中学校進学説明会

（保護者対象） 十月二十日

● 人権学習

三年生 講演を聞いた後、感想文提出。 十月三十日

「ヒロシマの心」

江種裕司氏（被爆体験者）

「働くこと・生きること」

中田進氏（関西勤労者教育協会講師）

「聴覚言語障害者の現状と課題」

三ツ矢直子氏

（京都市聴覚言語障害センター職員）

二年生

映画「日本の黒い夏・冤罪」を鑑賞し、感想文提出。

一年生

アジア諸国から日本にきている留学生を各クラス二人ずつ招いて講演してもらい、感想文提出。

● 宗教週間 十一月五日～十一月十日

「愛はすべてを望み」

大澤宣氏（紫野協会牧師）

「見えるものだけでなく」

宇野緑氏（日本キリスト教団平安教会）

「残りの者」

高山勝氏（同志社国際中高講師）

「最も小さい者こそ」

岸本兵一氏

（日本キリスト教団世光教会牧師）

●クリスマス礼拝

三年

十二月十日

一・二年

十二月十二日

●止揚学園訪問

十二月十四日

●家庭クリスマス

十二月十五日

香里中高

●五十周年記念式・礼拝・記念講演

九月十四日

同志社総長、理事長を来賓に招いての記念式・礼拝の後、本校のOBでカルチュア・コンビニエンス・クラブ（CCC）代表取締役社長増田宗昭氏を招き、「TSUTAYAの事業と同志社香里で学んだこと」と題した講演会を開催した。同氏は同志社香里ではレスリング部に入っ

て厳しい練習で体を鍛え、かつてのいじめっ子を見返せたが、そのかわり授業中

は疲れて寝てばかりいたこと。大学卒業後、ファッションビジネスの企業に入社し、店長として新人社員の教育・販売や仕入の計画をたてるなかで、自分の向いている仕事に初めて気づいたこと。退職後、レンタル・レコード店を開業して、現在のTSUTAYAに成長させるまでの工夫・苦勞などを話された。「夢は実現するかしないかではなく、夢しか、頭の中で描いたことしか実現しない。こんな事がしたいと思ったら決して諦めず、無我夢中になれるものを大事にしてほしい」と語られ、生徒に感銘を与えた。

●五十周年記念式典・祝賀会

十一月十日

松下IMPホールで関係者約七百三十人が出席して記念式典を挙行了た。初めに香里吹奏楽部、マンドリン部、女子中学校・高等学校弦楽部の演奏と大阪ハイソリッヒシュッツ室内合唱団の合唱で幕を開け、生井校長の式辞に続いて、大谷総長、大阪府知事（代理）、馬場寝屋川市長らから祝辞をいただいた。この後、場所をホテルニューオータニに移し、和やかな雰囲気の中、約千百人が出席した

記念祝賀会を催した。

●中学一年 社会フィールドワーク

十一月十三日

京都国立博物館に集合し、博物館を見学した後、班別行動で生徒たちが選んだ京都の古寺を見学した。それぞれの寺院の宗派・創建者・時代・国宝や著名な建造物・名勝をしらべ、後日レポートを作成して提出した。



● 中学クリスマス祝会

十二月十二日
クリスマス礼拝の後、教員がサンタに扮して登場、プレゼント交換やクイズ大会で和やかなひとときを楽しんだ。

女子中高

● 修養会

九月八日、九日、同志社びわこリトリートセンターで中学二年生から高校三年生の修養会が行われた。「共生」をテーマに、桜美林大学チャプレンの小崎眞先生を講師に迎え、先生の発題をもとに、自然とふれあい、人とふれあい、共に生きることについて、語り合った。

● 体育祭

雨天のため、一日順延で、十月二日に実施された。幸い好天に恵まれ、徒競走、綱引き、仮装競演、応援合戦、プログラム最後のクラス対抗リレーに至るまで、活力ある展開がなされた。

● 文化祭

十月三日から六日の四日間の日程で、



「Over the Rainbow」をテーマとして開催された。合唱コンクールで熱唱し、中学一年生はTシャツをデザインして通路に飾り、中学二年・三年生はクラスごとの展示、高校生はクラスごとに制作したオブジェを展示、その他、文化系クラブの発表、有志による展示、演奏等様々

な分野で活発な活動が行われた。また、六日には並行して、女子部のバザーが開催された。

● 収穫感謝礼拝

十一月十六日には、ハンドベルの演奏、聖歌隊の合唱による讃美礼拝を持ち、十七日には、収穫物を持ち寄り、感謝の礼拝、午後に、寄せられた収穫物と募金を持つて養護施設・老人ホームなどを訪問し、それぞれの場所で交流の時を持った。

● クリスマスページェント

十二月十七日、午前の部は生徒・教職員とで、午後の部は、養護施設の白川学園の方々を招き、一般の方々と共にクリスマス礼拝を持った。生徒、教職員、礼拝に参加した一般の方々から寄せられた献金は、全国の福祉関係の施設、事業所に送られた。

国際中高

● 二期始業式

九月三日

● 体育祭

中学校

九月二十六日

高等学校

九月二十五日

好天に恵まれ、生徒たちの自主的な運営により楽しくエキサイティングな一日を過ごした。

文化祭

九月二十八日～三十日

舞台発表、クラス展示、バンド演奏、古本市、父母の会主催のバザーと盛りだくさんの行事が開催された。

入試説明会

十月六日・十三日

両日とも中高合同の入試説明会が新島記念講堂で実施された。

中学三年生体験学習

十月十一日・十二日

富山県氷見・島尾海岸で、地引き網・キャンプファイヤー、大敷き網漁を体験見学した。日常生活から離れた貴重な体験となった。

人権強調週間

十月二十九日～十一月二日

ワークシヨップ、礼拝の時間など、さまざまな角度から、人権が侵害されている現在の状況、人権の大切さを学んだ。

十二月高等学校入学試験

十二月十日・十一日

本校、ニューヨーク、ロサンゼルス、

ロンドン、シンガポールで二〇〇二年度高等学校入学試験が実施された。



中学3年生の氷見・島尾海岸での体験学習

中学校

学園祭

九月二十六日～二十八日

本校および大学会館

各学年行事、生徒会行事、クラブ展覧会および青森県の風間浦中学校との交流。

体育祭

九月二十一日

全校バレーボール大会

十月三十日

宗教人権週間

十一月五日～九日

「見えるようになったもの」

加納和寛氏(蒲生協会牧師)

「隣り人」

三浦愛子氏(同志社国際中高聖書科講師)

「私たちを襲った試練」

原田博行氏(同志社高校聖書科講師)

「見えるものだけでなく」

宇野 緑氏(同志社国際中高聖書科講師)

人権行事

十一月九日

一・二年生全員

午前 映画鑑賞「タイタニズを忘れない」

午後 体験学習

①ブラインドリーディング

②車椅子

③手話

④点字

⑤介助犬・盲導犬

⑥障害者の作業所見学(洛陽教会内)

三年生 見学・体験学習

①映画鑑賞

②人権ゆかりの地をたずねる

③リバティ大阪見学

④立命館国際平和ミュージアムと陪審

法廷見学

⑤沖縄事前学習

●読書週間

十一月十二日～十六日

Let's make peace all over the world

アレン・ネルソン先生

●収穫感謝礼拝と施設訪問

十一月二十日

「何もないしあわせ」

森田直樹神父(カトリック京都司教区)

放課後、果物をもつて、生徒会役員・

ホザナとハンドベル部員が京都市民福祉

センターを訪問、交流した。

●創立記念礼拝

十一月三十日

「幸福になりたい」

大谷實氏(同志社総長)

●能・狂言鑑賞

十一月二十二日

三年生(全員参加) 河村能楽堂

国語授業の一環として実施

能「船弁慶」 狂言「清水」

●ペットボトルツリー点灯

十二月十八日～二十八日



生徒会はりサイクルの観点から全校生

徒にペットボトル回収を呼び掛け、五百

個を使って「ペットボトルツリー」(三

m)を製作した。KBS京都や読売新聞

で報道され大学生や市民がたくさん見に

来られた。

●クリスマス燭火礼拝

十二月二十日

昨年から実施された自由参加の企画

で、五時半、同志社礼拝堂(チャペル)

で開催された。聖歌隊、ハンドベルクワ

イア、管弦楽部、演劇部、英語部、生徒

会役員の奉仕で生徒・保護者を中心に約

五百人が参加した。

●クリスマス礼拝

十二月二十日

奨励 「神様の贈り物」 入治彦氏

(京都教会牧師)

●スキークャンプ

十二月二十三日～二十七日

三年生(自由参加)

四泊五日で、長野県志賀高原一ノ瀬ス

キー場へ。二百六十九人が参加した。

幼稚園

●六月お誕生日会

七月二日

午前中に園児全員に教員たちが寸劇・

音楽などの出し物を行い、午後からはそ

の月に誕生日を迎えた園児と保護者・教

員が昼食を共にし、ケーキにロウソクを

つけてお祝いをした(毎月一回行われ

る)。

●狂言・能鑑賞

七月六日

園の創立百四周年記念事業の一環とし

て、「心味の会」のメンバー四人を招い

て、子ども向けの伝統芸能鑑賞会が開かれた。



●お泊まり保育

七月六・七日

年長児のみ、幼稚園で一泊する。クッキング、キャンプファイアーや花火などのお楽しみをして過ごした。

●お遊戯会

七月十三日

一学期のまとめとして、各クラス舞台上で今学期に歌った歌や楽奏、オペレッタや表現などを発表した。

●琵琶湖キャンプ

八月一日

年長児のみ、比良のキャンプ場で水遊び、バーベキューなどを楽しんだ。

●夏期保育

八月二～四日

全園児が登園し、水あそび、色水遊び、フィンガーペインティングなどをして、楽しく過ごした。

●秋の遠足

九月二十八日

全園児でバスに乗り、滋賀県矢橋帰帆島に出掛けた。

●入園面接

十月一日

二〇〇二年度の入園面接を三才児四人、四才児若干名の募集で行った。

●運動会

十月二十日

女子大学のテニスコートで、各学年三～六種目の競技(ダンス・障害走・玉入れやリレーなど)に参加した。

●園外保育

十一月二日

全園児でバスに乗り、梅小路公園に出掛けた。

●参観日

十一月十二～十六日

全クラスが五日間の参観日を設け、自由あそびから各クラスの設定保育の様子を保護者に見ていただいた。

●収穫感謝祭

十一月十五日

各家庭から持参した果物や野菜を囲ん

で、全園児で礼拝をした(参観日中だったため、保護者数人も共に参加していた)。

●シチューの日

十一月二十日

収穫感謝祭のために園児が持参した野菜を使ってシチューを作り、果物と共にいただいた。

●校租臺参

十一月二十二日

全園児親子と共に、校祖新島襄先生のお墓参りをした。

●クリスマス会食

十二月五日

クリスマスを喜んで、カレーライスを作りみんなでいただいた。

●クリスマス礼拝・祝会

十二月十五日

新島会館でクリスマス礼拝・祝会をした。年長児のページェント劇に年中児は聖歌隊で参加した。また、その後の祝会では年少児が歌や合奏・ダンスをして、みんなでクリスマスをお祝いする楽しい時を過ごした。

◆ 新校長紹介 ◆

同志社中学校長

丹沢登志郎（たんざわとしろう）



一九四八年東京都生まれ。

東京都立立川高等学校をへて京都大学理学部入学。七一年卒業。同年同志社中学校に入社。教務主任を二期歴任し、現在同校教頭。

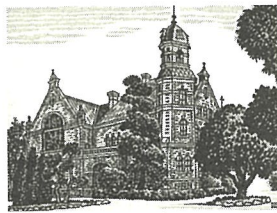
担当教科は数学。

任期は四月一日から四年間。

Neesima Room

「同志社百景」展のお知らせ

来る春学期に第21回企画展「同志社百景」がオープンいたします。同志社には開校以来、校舎を中心にキャンパスの風景を描いた版画や絵画が数多く残されています。今回、その中からおよそ100点を選び公開いたします。これらの美術作品を通してあらためて同志社の伝統とキャンパスの美観を再認識していただけるよう、前々回の「同志社の肖像画」展に続いて風景画展を企画いたしました。



「クラーク記念館」
伊藤仁三郎 作

- 〈期 間〉 2002年4月1日(月)―2002年8月30日(金)
- 〈時 間〉 9:30―17:00 (土曜日は正午まで、日曜日は10:00から)
- 〈会 場〉 Neesima Room (同志社大学今出川校地・ハリス理化学館2階)
- 〈開室日〉 直接お問い合わせ下さい(特に8月は変則的です)。
- 〈申 込〉 事前申込不要・入場無料
- 〈お問い合わせ先〉 同志社社史資料室 Tel. 075-251-3042

同志社女子大学創立125周年・新制大学設置50周年記念展示

「同志社女子高等教育への道」開催中



同志社女子大学では、創立125周年・新制大学設置50周年を記念し「同志社女子高等教育への道」と題した展示会を、復元的改修工事を終えたジェームズ館で開催しております。

明治期の女性宣教師や女学校卒業生の留学、専門学部設置への過程、ジェームズ館（登録有形文化財）等にかかわる貴重な史料や写真を展示しております。ぜひお越し下さい。

- 〈期 間〉 2002年7月31日(水)まで。〈開催中〉
- 〈開室時間〉 月～金10時～16時 ※土・日・祝は閉室
- 〈場 所〉 同志社女子大学 今出川キャンパス 史料室（ジェームズ館107）
- 〈申 込〉 事前申込不要・入場無料
- 〈お問い合わせ先〉 史料室 (TEL075-251-4200)